

東欧の名門オーケストラに話題の若手ピアニスト角野隼斗が邂逅!

ポーランド国立放送 交響楽団

バッエヴィチ〈序曲〉
シヨパン〈ピアノ協奏曲第1番〉
独奏/角野隼斗
ドヴォルザーク
〈交響曲第9番「新世界より」〉



指揮

マリン・オルソップ

Marin Alsop ©Grant Leighton



ピアノ

角野隼斗

Hayato Sumino ©@ogata_photo

2022

9月13日 火

18:00開場 19:00開演

福岡サンパレス

5月21日発売

チケット料金(税込) S席13,000円 A席11,000円 B席 9,000円 C席 7,000円 ※未就学児入場不可

ヨランダオフィス・チケットセンター ☎0570-033-337 (ナビダイヤル) ☎092-406-1771 イープラス <https://eplus.jp/prso-fk/>
チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード:216-178) ローソンチケット <https://1-tike.com/> (Lコード:84849)

お問合せ ヨランダオフィス・チケットセンター ☎0570-033-337 (ナビダイヤル) ☎092-406-1771

主催/FLQ 後援/福岡市・(公財)福岡市文化芸術振興財団

※必ずマスク着用でご来場の上、感染予防対策にご協力ください。 ※ご来場前にホームページ等で最新情報をご確認ください。

角野隼斗 (ピアノ)

Hayato Sumino, Pianist

1995年生まれ。2018年、東京大学大学院在学中にピティナピアノコンペティション特級グランプリ受賞。これをきっかけに、本格的に音楽活動始める。2021年、第18回ショパン国際ピアノコンクールでセミファイナリスト。これまでに読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団等と共演。2020年、1stフルアルバム「HAYATOSM」(eplus music)をリリース。オリコンデイリー8位を獲得。クラシックで培った技術とアレンジ、即興技術を融合した独自のスタイルが話題を集め、「Cateen(かていん)」名義で活動するYouTubeチャンネルは登録者数が95万人超、総再生回数は1億回を突破(2022年3月現在)。新時代のピアニストとして注目を集めている。CASIO電子楽器アンバサダー、スタインウェイアーティスト。



©@ogata_photo

ポーランド国立放送交響楽団

Polish National Radio Symphony Orchestra



©Bartek Barczyk

1935年ポーランドの大指揮者グジェゴシュ・フィテルベルクによってワルシャワに創設される。1945年に本拠をカトヴィツェに移転、ヤン・クレンツ、カジミエシュ・コルド等同国を代表する名匠が芸術監督を歴任。アレクサンダー・リープライヒを経て現在はルーマニアが生んだ名指揮者ローレンス・フォスターが2019年9月にその任を引き継いで今に至る。これまでに、ルービンシュタイン、ポリーニ、アルゲリッチ、バーンスタイン等多くの巨匠が客演、世界中で演奏活動を行っている。膨大な録音歴を持ち、200タイトル以上のCDをユニバーサル・ミュージック、ナクソス等からリリースし、仏ディアパソングランプリ・ディスクに選出。2002年カンヌ・クラシック賞、2018年ICMA特別賞受賞。ポーランド共和国公式文化使節。

マリン・オルソップ (指揮)

Marin Alsop, Conductor

ニューヨーク生まれ。イエール大学とジュリアード音楽院を卒業後、バーンスタイン、小澤征爾らに学ぶ。1989年、タンゲルウッド・ミュージック・センターでクーゼヴィツキー賞を受賞し、翌年にはバーンスタインの招待でPMF音楽祭に参加した。米国メジャーオーケストラの音楽監督など多くの要職を務め、女性指揮者の躍進を牽引している。コロラド交響楽団の音楽監督、ボーンマス交響楽団、サンパウロ交響楽団の首席指揮者などを歴任。2007年から14年にわたってボルティモア交響楽団を音楽監督として率い、現在は名誉指揮者を務めている。2019年にはウィーン放送交響楽団の首席指揮者に就任。近年は、ロイヤル・コンサートヘボウ管、パリ管、ロンドン・フィル、シカゴ響、フィラデルフィア管など、世界の主要オーケストラに定期的に客演。ディスコグラフィも多岐にわたり、グラミー賞にも多数ノミネートされている。



©Grant Leighton